

小5冬期講習 学習のすすめかた (算数)

☐ 授業について

【授業前の準備】

- ・宿題ノートや添削課題を教卓へ提出し、お手洗いはすませておく。
- ・テキストや筆記用具など忘れ物がないかを確認し、忘れ物があるときは受付へ相談しに行く。
- ・スマートフォンなど音が出る機器はサイレント（無音）モードにするか、電源をオフにする。

【授業の受けかた】

- ・ 飲み物は飲みたいタイミングで飲んでかまいません。食べ物にはアメやガムをふくめ禁止です。
- ・ お手洗いに行きたくなったときや体調が悪いときは、遠慮せず手をあげて申告してください。
- ・ 授業にふさわしくない言動や姿勢は注意します。
(私語、不規則発言、机えのつぶし、居眠り、イスあそび、テキスト立て、ペン遊び など)
- ・ 途中式や答えはテキストに書きこまず、授業用ノートへ実施してください。
(問題文への線引きや図形問題の条件等は書きこんでかまいません)
- ・ 板書の内容は原則としてすべてノートにとるようにしましょう。

☐ 各回の宿題

(1) 練習問題 授業で取りあつかった問題の×問再実施

(2) 基本問題 すべて (授業で取りあつかった問題は×問の再実施)

(3) 巻末の計算問題 (P61～P64) 授業1回につき1ページずつ実施

(4) 確認テスト (1)～(3)が完了してから実施

※ (1)から順番に、「〇つけ・間違い直し・自力で解けるまで解き直し」をセットで実施してください。
授業ごとに宿題が間に合わない場合は、冬期講習明け初回授業までに完了・提出しましょう。

※「基本問題」は、予習としてどんどん進めてかまいません。
単元の理解に不安がある場合は、できるだけ予習をして授業にのぞんでください。

わからない問題は、新演習小5下の対応する単元の例題の解説を確認したうえで取り組んでみましょう。

□ 冬期講習明け初回授業までの宿題 ※ 1/14(水)の本科授業再開時に提出してください。

(1) 各回の宿題のやり残し (授業の×問再実施・基本問題・巻末計算・確認テスト)

(2) 第1回～第4回の確認問題 (各回5ページずつ)

(3) 卷末総合問題 (P58~P60)

(4) 冬期テキストの×問2周目 ～自力で正解できるまで

※ アタックテスト偏差値60以上を目指す場合は、(1)～(4)に追加して下記を追加実施してください。

a) アタックテスト偏差値60以上が目標 … 第1回～第4回 練習問題の残り
b) アタックテスト偏差値65以上が目標 … 第1回～第4回 練習問題の残り・応用問題すべて

冬期テキストの内容は、小6の算数の土台になる重要単元ばかりです。
それぞれの宿題について、自力で解ける状態をつくりながら進めることを意識してください。

☐ 確認テストの実施について

【実施のしかた】 ※ ①～⑤の形式が守れていない場合は、再提出を指示することがあります。

① 配布された漆削用紙をたてに半分で折り、実施日・名前を書く。

② タイマーをセットし、途中式や筆算をできる限り残しながら全問を実施する。

③ 実施にかかった時間を添削用紙の左上へメモし、解答を確認して○つけをする。

④ ×問は解説や授業用ノートを確認して、ミスの修正(なおし)やメモをする。

⑤ ④で理解した内容をふまえ、×問を自力で余白へもう一度解きなおす。

【その他の留意点】

確認テストはその回の定着度をはかるための課題のため、そのほかの宿題がひととおり終了して
からテスト形式で実施してください。
満点を目指せるような宿題の進めかたを心がけましょう。

・ 見る人へ伝わる途中式・字を書くことを意識してください。

・ スペースが足りない場合は、うら面をつかってもかまいません。

×問で解説やノートを確認してもわからない問題は、「何がわからないか」をなるべくくわしく書き残したうえで、解きなおしはとばしてもかまいません。（解説の丸写しは不要です）

・ 添削用紙のみ提出してください。（問題用紙の提出は不要です）

〔実施例〕

	添削問題解答用紙		「確認テスト」第 回	
時間をはかって実施し、 かかった時間を左上あたりに記入してください。	(口分口秒)		(日付)	
			(氏名)	
途中式が発生する問題は、 途中式を残しましょう。 また、どれが答えか明確に わかるように示してください。	問1) $24 \div 3 = 8$ $8 \times 2 = 16$	答え 16	問1) . . .	上らんの記入は氏名・日付のみでかまいません。
添削用紙を左右に分け、 たてに解き進めるように してください。	問1) . . .		問1) . . .	
	※ ×間は自分の途中式を見て、 『どこが違っていたか』の直し を実施しましょう。		<解き直し> . . .	○つけをしたあと、×間 は解説を確認したうえで 余白へもう一度解き直し をしてください。